



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第120号(2014年1月31日)



【ドバイの不動産取引に占める外国人シェア】

Dubai Land Departmentの発表によれば、2013年に行われたドバイにおける不動産取引は総額2,360億AED(UAEディルハム)となりました。そのうち、約半分の1,140億AEDは外国人による取引でした。

Land Department当局は、2013年に160カ国以上の投資家がドバイでの不動産取引を行ったことは、ドバイの不動産市場とアラブ首長国連邦の経済の強さ、確実性を示したものだとして発表しています。

GCC諸国の枠組みで見ると、全体で330億AEDとなりました。そのうち、アラブ首長国連邦の取引が240億AEDと最大になるのは想像が付きませんが、次いでサウジアラビアが46億AEDと大きなシェアを占有し、オマーン、カタール、バーレーン、クウェートはあまり存在感はなかったようです。一方でGCC諸国以外のアラブからの投資は多額に上り、ヨルダン、レバノン、エジプトからの投資が多かったとのことです。

アラブ外では140カ国で合計690億AEDとなり、一番多額だったのが180億AEDのインド、次いで104億AEDのイギリス、86億AEDのパキスタンが続きました。この後はロシア、カナダ、アメリカ、中国、フランス、ドイツと続き、どうやら日本からの取引はあまり目立ったものではなかったようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【中東でのビジネス拡大を狙う企業が増加】

グローバルで不動産関連サービスを行っているCBREの調査によれば、グローバル企業の中で、新たに中東でのビジネスの拡大を考えている企業が増加しています。

CBREの最新の調査によれば、グローバルの経済の改善を受けて回答企業の約30%が今後2年間に進出する候補地として中東を検討しています。2012年の同調査では、中東を検討していた企業は回答企業の約24%でした。

ドバイについては、従来から商業、観光のハブであったことに加え、2020年の世界万博の開催が決まったことなども更に追い風になっているようです。

【ドバイで新たな巨大シティの建設プロジェクトが始動】

ドバイでは統治者の名にちなんだ新しい都市MBR City (Mohammed bin Rashid City)のプロジェクトが始まりました。MBR City自体は5,400万平方メートルにも及ぶ都市となりますが、今回はそのうち中心地区400万平方メートルの開発が始まりました。MBR City自体は2018年から2019年頃の完成の予定となっています。

MBR Cityは住宅、ショッピングセンター、レジャー施設、教育機関、モスクなどから構成されるほか、全長14キロメートルにも及ぶ人工のビーチも新たに造られることとなります。



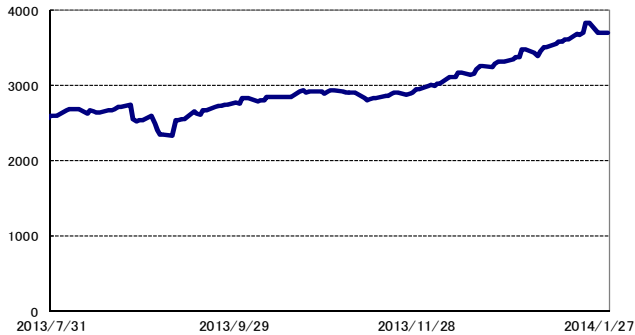
本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



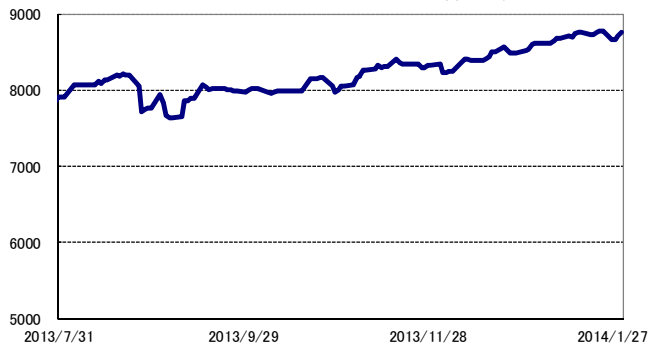
【ご参考】中東(GCC)地域の株価推移

(各市場の直近6ヶ月)

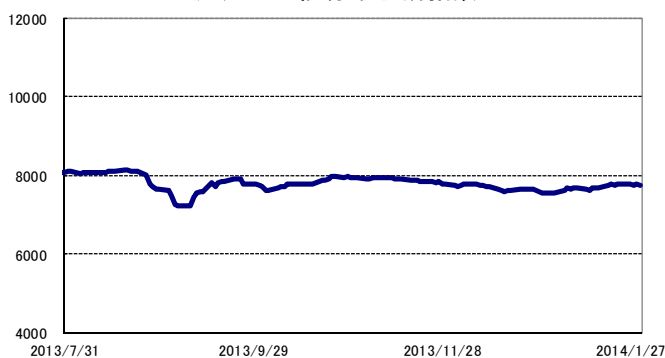
ドバイ金融市場総合指数



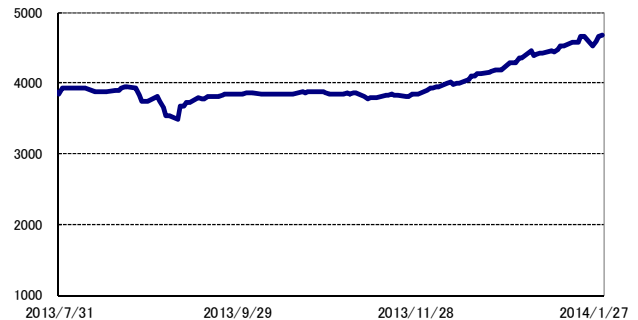
サウジアラビア タダウル全株指数



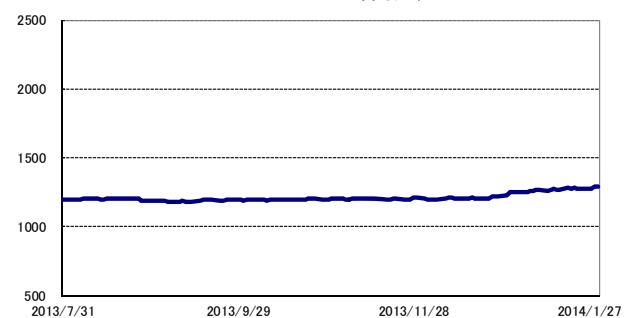
クウェート証券取引所指数



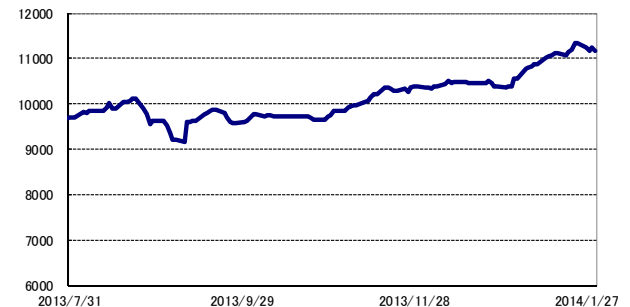
アブダビ証券取引所株価指数



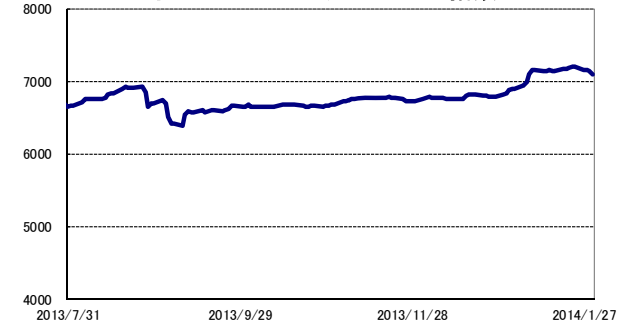
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。